

NEW
城下町長府ひなまつり
 2月8日(土)～3月9日(日)



早春の城下町長府を華やかに彩ります。期間中「ひな人形」や「つるしかざり」が数多く展示されます。

2014年は、「365日毎日楽しい下関」と「もう一度訪れたくなる下関」をテーマに、イベントのグレードアップや、「家族旅」「シニア旅」といった新イベント、新たな食の強化策、晋作没後150年企画などを実施し、さまざまなイベントを展開します。

新たな観光客に加えてリピーターを獲得するために、地元の方々にPRをお願いいたします。

観光都市
しものせき
再発見!!

もっと
 行ってみよう!
 観てみよう!
 勧めよう!

NEW
維新体感 萩・下関スタンプラリー
 3月1日(土)～
 8月31日(日)




晋作の没後**150年**(2017年)に向けて萩市と連携して開催。参加者全員への**クリアファイルプレゼント**や抽選で豪華プレゼントも!

NEW
美味極上下関(仮称)



下関は**はく**で有名ですが、**あんこう**、**くじら**、**うに**、**特牛**いか、**安岡ねぎ**、**福岡トマト**など全国に誇れる素材が多くあります。これらを最高級のおもてなし素材として使った下関オリジナルフルコースを作ります。公開は秋～冬頃を予定しています。

NEW
幕末・維新 女たちの下関(仮称)



2015年NHK大河ドラマ「**花燃ゆ**」の主人公 吉田松陰の妹・文の母 瀧は、下関市内にあった阿川毛利家の家臣の三女として文化4(1807)年に出生しています。加えて、下関出身の伊藤博文の妻・梅子、山縣有朋の妻・トモに加えて、坂本龍馬の妻・お龍、木戸孝允の妻 松子、女奇兵隊士、近藤勇の娘なども取り上げ、3月ごろ新たにパンフレットを作製します。今後、さまざまな企画も実施していく予定です。

光明寺 (細江町1-7-10)
 文の最初の夫である久坂玄瑞が、後に奇兵隊の母体となった「光明寺党」と呼ばれる一団と寄宿したことで知られ、本堂の柱には浪士たちが付けたといわれる刀痕や槍痕が残っています。



グレードアップ

イルミネーション水族館
5月24日(土)～7月27日(日)の毎日



期間の延長など、昨年よりグレードアップして2回目の登場！海響館付近を海峡の街らしく「くまのぼん」や「イルカ」のオブジェなどで飾り、恋人灯台なども光の演出を施すことで、ロマンチックな海峡エリアをさらにロマンチックに！

グレードアップ

ふくちょうちんまつり

9月下旬～11月中旬予定



ふくの季節到来にあわせ開催。市内各所に「くまのぼん」を飾り付けます。2回目になる今年はさらにグレードアップしてより楽しんでいただける企画を多数用意しています。

その他のイベント

- | | |
|---|---|
| <p>NEW ・東行記念館企画展「晋作と龍馬」
 ・しものせき女子旅キャンペーン
 ・武蔵・小次郎の決闘寸劇</p> <p>NEW ・家族旅
 ・巖流島トレジャーハンティング</p> <p>NEW ・シニア旅</p> <p>NEW ・美味ふく下関No.1 千円以下で楽しむ下関のふく
 ・武蔵・小次郎の決闘寸劇 着ぐるみバージョン
 ・源平 night in 赤間神宮
 ・甲冑・官女着付体験
 ・歴史体感☆紙芝居</p> | <p>3月4日(火)～6月8日(日) ※休館日は月曜日。祝日の場合は翌日
 4月～7月(予定)
 4月～6月の土・日曜日、祝日(5月3・4日は除く)
 7月～9月(予定)
 7月～9月
 10月～12月(予定)
 秋ごろ
 10・11月の土・日曜日、祝日
 10月の土曜日
 10・11月の日曜日、祝日
 12月25日(木)までの毎日</p> |
|---|---|

イベントを自ら体験・体感し、全国の友人・知人などにPRして、市民全体が下関市観光のセールスマンとして交流人口1,000万人に向けてサポートをお願いします。

その他さまざまなイベント・企画があります。詳細はお問合せください。
 関観光政策課 ☎231-1350
 下関観光HP <http://www.city.shimonoseki.yamaguchi.jp/kanko/>



「365日毎日楽しい下関」&「もう一度訪れたい下関」!



市民ホスピタリティの向上

「観光交流都市 下関」の実現には、市民全体でのサポートが必要です。観光ガイドの会員拡大、育成などに対する支援はもちろん、観光客と市民による直接交流拡大のためのさまざまな施策を行うことで、全市民が観光客の質問に適切に対応できる市民総観光ガイド化を実現し、「おもてなしの心溢れる下関」を目指します。

市外・国外からの人たちに優しく接することで市民が自信と明るさに芽生え、市全体で明るい未来に向かうことができるまちづくりを進めます。

下関市観光交流ビジョン2022

下関市では、平成8年に「観光都市宣言」を行うとともに、国から「国際会議観光都市」に認定されて16年が経過した平成24年12月に、2022年を目標に、全ての下関市民が「誇り」を持てる観光都市「下関市」の構築に向けてまい進していくため、改めて「観光交流都市下関市」を宣言し、本市観光振興戦略として「下関市観光交流ビジョン2022」を策定し、10年後の観光客数1,000万人、宿泊客数100万人の数値目標を掲げることとしました。



目指す観光都市の姿は？

観光振興で最も重要なものは「企画力」「情報発信力」「ハード・ソフト両面での受け入れ力」の三つの力です。下関らしさを生かして国内外の観光客の心をつかむ最高の企画を立案すること、観光施設や宿泊施設などハード面での受入態勢の充実、そして何より受け入れる「人」。それは宿泊施設や飲食店、土産品店の従業員などの観光関連事業者はもちろん、市民全員が最上のおもてなしの心を発揮して国内外の観光客を向かえることが大切です。

観光客数・宿泊客数は？

ビジョン初年の平成24年は、観光客数が前年比676,988人増の6,624,355人、宿泊客数が前年比42,840人増の741,877人となっています。

年	観光客数	宿泊客数
平成24年	6,624,355	741,877
平成23年	5,947,367	699,037
平成22年	6,124,175	702,804
平成21年	6,013,197	697,507

「観光交流都市 下関市」理想の姿

- にぎわい観光都市
- コンベンション誘致充実都市
- 滞在型観光充実都市
- 観光ネットワーク充実都市
- 日帰り型観光充実都市
- 観光客満足度No.1都市

私が子どもの頃は、少し元気がないように感じていましたが、現在は、さまざまなイベントが催されていますし、海響館、唐戸市場、はい！からと横丁といった立派な施設もできたことで、多くの観光客の方が訪れるようになり、元気になりつつあると感じています。私もそうでしたが、住んでいるところの魅力は案外見落としがちですので、ラジオを通じて下関の魅力を発信し、市民の方がもっと下関のことが好きになるお手伝いをしていきたいです。外に向けてみながら「お国自慢」をできるように、観光客の方に魅力を説明できるようにすると、下関はもっともっと元気になると思います。

2015年のNHK大河ドラマが吉田松陰の妹である文さんが主人公の「花燃ゆ」に決まったそうです。高杉晋作など下関と縁のある人物も多く登場するでしょう。この機会を生かして、文さんに負けないよう、下関の女性一人ひとりが主役で頑張っていけたらと思っています。

高校卒業後、大学・社会人と関西で暮らしていましたが、じわじわと故郷である下関のことが好きになり、下関で一生暮らしたいとの思いが募り、2012年春に戻ってきました。

外から下関を見て感じるのは、豊かな歴史や文化、素晴らしい風景など、数え切れないくらい多くの魅力にあふれた街だということですね。



（関門海峡歴史文化検定で3人しかいない博士の最年少保持者）

カモンFM パーソナリティ
野田 有加 さん

着用衣装は高杉晋作甲冑のレプリカで、没後150年の2017年に向けた観光キャンペーンで作製しました。